

各位

会社名	タカラバイオ株式会社 (コード番号 4974 東証 1部)
本社所在地	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
代表者	代表取締役社長 仲尾 功一
問合せ先	執行役員事業管理本部長 掛見 卓也
TEL	(077) 565-6970
URL	<a href="http://www.takara-bio.co.jp/">http://www.takara-bio.co.jp/</a>

## 米国子会社が、新型コロナウイルスの ハイスループット PCR 検査法を開発

タカラバイオ株式会社の米国子会社である Takara Bio USA, Inc. (米国カリフォルニア州、以下 TBUSA 社) は、2020年6月8日(現地時間)に、新型コロナウイルスのハイスループット PCR 検査法の開発に関するプレスリリースを行いました。

プレスリリース URL: <https://www.takarabio.com/about/announcements/takara-bio-usa-inc-and-biosyntagma-inc-develop-method-for-large-scale-automated-covid-19-testing>

なお、本件が、当社 2021 年 3 月期連結業績に与える影響は、現在精査中です。

### 当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社による現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決などがありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

この件に関するお問い合わせ先  
タカラバイオ株式会社  
事業管理部  
Tel 077-565-6970

## (参考資料)

### 米国子会社のリリース: 日本語訳(要旨)

タカラバイオ株式会社の米国子会社の Takara Bio USA, Inc. (TBUSA) は、bioSyntagma, Inc. およびそのパートナーと共同で、新型コロナウイルスを検出するための新規ハイスループット法の開発を行いました。この方法は、自動化技術と TBUSA の試薬を用いて、リアルタイム PCR によってウイルス RNA を検出するものであり、これにより 1 日あたり数千の検体に対する迅速で大規模な検査が可能となります。

この方法では、TBUSA の SmartChip™ リアルタイム PCR 装置、チップおよび試薬を使用して、1 チップあたり 5,184 の PCR 反応を、直接的な作業時間にして 30 分未満で行うことができます。各反応はナノリットルスケールで行われ、反応のばらつきが低減され、かつ使用する試薬の量も減らすことができ、コスト削減につながります。市場から信頼を得ている SmartChip Real-Time PCR System は、抗生物質耐性菌および抗菌薬耐性菌の遺伝子検出にすでに世界中で広く使用されていることから、新型コロナウイルスの迅速かつ正確な検出という大きな需要に対応するのに最適といえます。

TBUSA の Carol Lou 社長は、次のように述べています。「屋内避難命令が解除された今、新型コロナウイルスのパンデミックを制御するには、多数の検体から正確に、再現性良く、かつ迅速に新型コロナウイルスを検出できるようになることが重要です。この取り組みをサポートするために、私たちは SmartChip の反応系を最適化することにより、コストを最小限に抑えながらも、処理する検体数を最大化できる方法を開発しました。

スコッツデールに拠点を置く bioSyntagma 社は、アリゾナ州立大学からスピンオフしたバイオテクノロジー企業であり、P2 Diagnostics 社と共同で開発を行っています。この新規開発した SmartChip による検査方法は、CLIA (Clinical Laboratory Improvement Amendments) による認定を受けているこれらの遺伝子検査ラボで採用され、新型コロナウイルス感染症の診断検査として開発・実施されると期待されます。「この新型コロナウイルス感染症の新規検出方法の迅速な開発は、bioSyntagma と TBUSA の間の生産性の高いコラボレーションによって実現しました。」と bioSyntagma の CEO である David Richardson は述べました。

bioSyntagma 社とパートナーは、SmartChip を用いて新型コロナウイルスを検出する方法について、FDA から緊急使用許可 (EUA) を取得するために取り組んでいます。

今回開発した試薬のもとになっているタカラバイオの One-step RT-PCR 試薬を使用した新型コロナウイルス検査は、Ipsium Diagnostics, LLC および Hackensack University Medical Center といった TBUSA の米国顧客により、すでに EUA が取得されています。

以上